

インフルエンザ (Influenza : the Flu)



発熱



咳



鼻水



任意接種
インフルエンザ

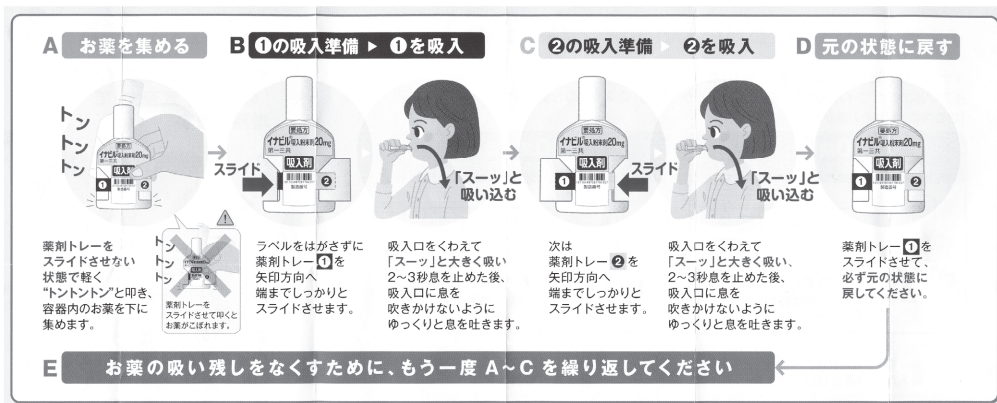
インフルエンザウイルスによっておこります。潜伏期間は1～4日です。感染力が強く、冬から春にかけて流行します。**突然高熱**が出て、3～4日続きます。**咳**、**鼻水**、**関節痛**、**筋肉痛**などがあらわれます。ウイルスが小さな変異を繰り返すため、一度かかって体内に抗体ができて、変異したウイルスには対応できず、罹患することがあります。気管炎や肺炎などの合併症を併いやすく、脳症を合併すると死亡率も高くなるので、悪化した時はもう一度受診した方がよいでしょう。インフルエンザウイルスに対しては**抗ウイルス薬**（タミフル[®]、リレンザ[®]、イナビル[®]、ラピアクタ[®]、ゾフルーザ[®]）が有効です。予防接種は任意接種ですが、罹患した場合の重症化を防止する効果があるとされているので、流行前の10～11月頃から12月中旬までには受けましょう。生後6か月以上13歳未満では、2回接種を行います。大人は、1回接種でよく、保育者も流行前に接種しておきましょう。

園でインフルエンザが流行した場合は、マスクを装着します。アルコールによる消毒効果も高いので、流行期間中には患者の唾液、痰、鼻水などの体液が付着したものは消毒しましょう。

知っておこう！

イナビル[®]の吸入方法

イナビル[®]は2010（平成22）年10月に発売された吸入型のインフルエンザ治療薬です。10歳未満の子どもは20mgを1本分、成人および10歳以上の子どもは2本分吸入します。吸入のしかたを知っておくとよいでしょう。



出所：第一三共(株) パンフレット『イナビル[®]を吸入しましょう』。

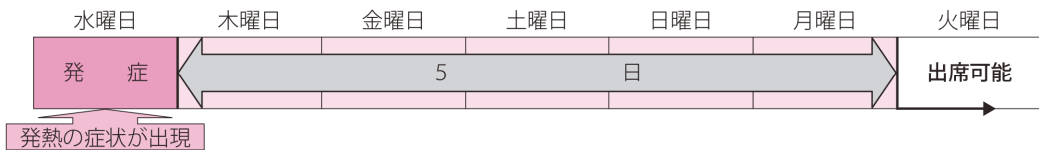
インフルエンザの出席停止期間の考え方

2012（平成24）年4月1日付で、学校保健安全法施行規則が一部改正され、いくつかの学校感染症の出席停止期間等の基準が変更されました。その一つに第二種学校感染症に含まれるインフルエンザがあります。これまでは「解熱した後2日を経過するまで」だったインフルエンザの出席停止期間は、「**発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで**」と改正されました。

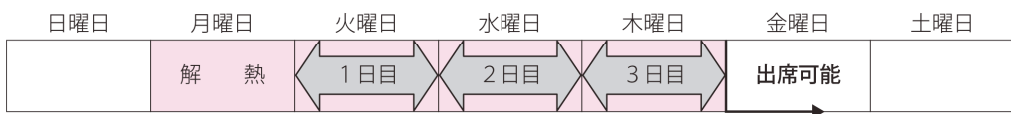
最近では、インフルエンザと診断された場合は、イナビル[®]やリレンザ[®]、タミフル[®]などの抗インフルエンザウイルス薬が処方されることが多く、発症しても比較的症状が軽く済んだり、早めに解熱したりすることもあります。しかし、抗インフルエンザ薬の服用によって解熱が早まっても、発症後4～5日間はインフルエンザウイルスが排泄されているという報告もあります。よって、解熱したかどうかに関わらず、発症後5日までは感染力があるという見解のもと、インフルエンザの出席停止期間に「発症した後5日を経過し」という文言がつけ加えられました。

なお、「幼児にあっては、3日」という文言が入りました。これは特に3歳以下ではウイルスの残存率が高く、ウイルスの排泄期間が長くなる可能性が高いこと、乳幼児期では一度解熱しても再び発熱する**二峰性発熱**^{にほうせいはいつねつ}がみられる場合があること、さらに乳幼児は免疫力が未熟なため、より慎重に感染拡大を防止する必要があることなどにより、児童（小学生）以上より1日長い「解熱した後3日」という日数が設定されました。

出席停止期間の日数の数え方ですが、ここでいう「発症」とは、症状が出た日、つまり発熱した日と考えます。発症日（発熱した日）は日数に入らず、発症日の翌日から「発症後1日目」と数えます。インフルエンザが発症し、翌日解熱したとしても、最短で発症後6日目からの登園になります。



また、「解熱した後」というのは、解熱した日は数に数えず、その翌日から「解熱後1日目」と数えます。



以上二つの条件を合わせて、出席停止期間を考えます。以下に早見表を示します。

インフルエンザ出席停止期間の早見表（幼児）

		発症日	発 症 後									
		0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	
例1	発症後1日目に解熱した場合							登園可能				
		発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目	発症後5日目					
		出 席 停 止										
例2	発症後2日目に解熱した場合							登園可能				
		発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目					
		出 席 停 止										
例3	発症後3日目に解熱した場合								登園可能			
		発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目				
		出 席 停 止										
例4	発症後4日目に解熱した場合									登園可能		
		発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目			
		出 席 停 止										
例5	発症後5日目に解熱した場合										登園可能	
		発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	解熱後3日目		
		出 席 停 止										

インフルエンザ出席停止期間の早見表（小学生以上）

児童（小学生）以上は、「解熱後2日」で登校可能になるため、幼児の場合より1日早い登校となります。

		発症日	発 症 後									
		0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	
例 1	発症後 1 日目に解熱した場合							登校可能				
		発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後4日目	発症後5日目					
		出 席 停 止										
例 2	発症後 2 日目に解熱した場合							登校可能				
		発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後5日目					
		出 席 停 止										
例 3	発症後 3 日目に解熱した場合							登校可能				
		発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目					
		出 席 停 止										
例 4	発症後 4 日目に解熱した場合								登校可能			
		発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目				
		出 席 停 止										
例 5	発症後 5 日目に解熱した場合									登校可能		
		発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目			
		出 席 停 止										

（鈴木）